

ロンドン 2025 年 4 月 3 日

フェストアルピーネ ドナヴィッツの LD 転炉（BOF）を近代化

- オーストリア、ドナヴィッツの 67 トン転炉を改修
- 新しいトラニオンリングの空冷システムが設備寿命を延長

プライメタルズ テクノロジーズ（Primetals Technologies）が近代化を行ったフェストアルピーネドナヴィッツの（voestalpine Donawitz）No. 4 LD 転炉（BOF）が稼働を開始しました。この転炉の出鋼重量は 67 トンです。

寿命を迎えていた旧転炉の改修について、プライメタルズ テクノロジーズは、転炉本体、トラニオンリング、サスペンションシステム、スラグシールド、底部攪拌システム、空冷システムの設計および供給を担当し、建設作業および据付に関するアドバイザリー業務も行いました。

設備寿命の延長

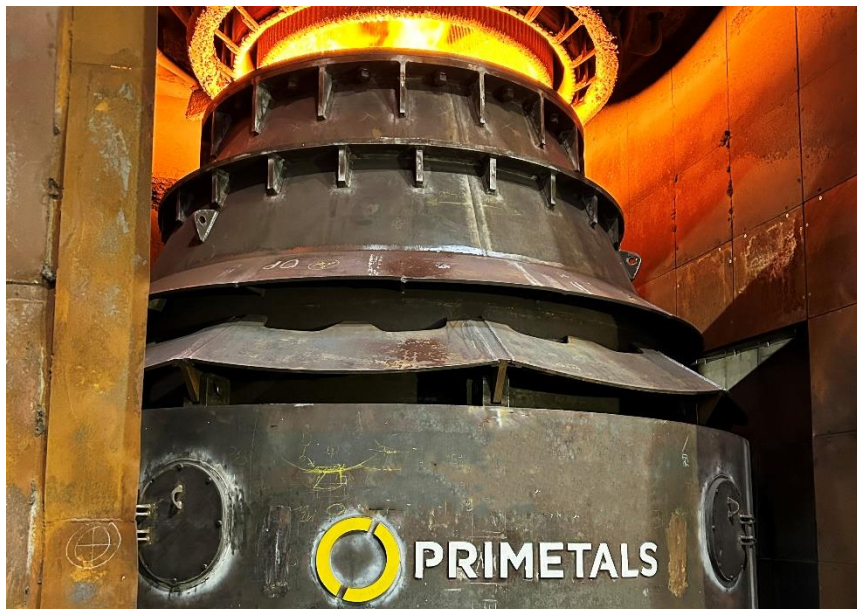
空冷システムがトラニオンリングおよび炉体シェルの作動温度を大幅に下げたため、設備の寿命が延長されました。また、冷却効率が高いため、水冷システムと比較してメンテナンス作業が軽減されます。さらに、メンテナンス不要のサスペンションシステムである Vaicon Link 2.0 の採用で、熱膨張が全方向に広がり、炉体の安定性を確保します。

フェストアルピーネは、ドナヴィッツの拠点において年間約 165 万トンの高品質な粗鋼を生産しており、ビレットやプリブロックに加工しています。これらの中間製品の大部分は、voestalpine Rail Technology、voestalpine Wire Technology、voestalpine Tubulars などのグループ企業でさらに加工されます。

LD（BOF）プロセスの発展における重要な役割

ドナヴィッツ製鉄所は、100 年以上の歴史を誇ります。1953 年、プライメタルズ テクノロジーズの前身企業が世界で 2 例目となる LD 転炉（BOF）をドナヴィッツ製鉄所に導入しました。この転炉は同年 5 月 22 日に稼働を開始し、それ以来、ドナヴィッツ製鉄所は LD プロセスの発展において重要な役割を果たしてきました。現在、世界の鉄鋼生産量の約 60%が LD 法によるものです。

プライメタルズ テクノロジーズとフェストアルピーネ グループは長年にわたり協力関係を築いており、数多くのプロジェクトを共に進めてきました。最近の代表的な事例としては、2020年にドナヴィッツ製鉄所で導入されたブルーム鋳造機や、2024年1月にリンツ工場向けに発注された EAF Ultimate 電気炉が挙げられます。



プライメタルズ テクノロジーズが改修したフェストアルピーネドナヴィッツ製鉄所 No.4 LD 転炉が稼働開始



No.4 LD 転炉（BOF）稼働開始時のプライメタルズ テクノロジーズとフェストアルピーネの現場チームの一部

プレスリリースと報道用画像は www.primetals.com/press/に掲載しています。

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：石崎）

〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業 広島製作所内

電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ SNS 公式アカウント

[linkedin.com/company/primetals](https://www.linkedin.com/company/primetals)

[facebook.com/primetals](https://www.facebook.com/primetals)

twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工業グループ 100%出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約 7,000 人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト：primetals.com/jp